



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

1963年3月23日創立
週報2780号

Rotary Opens Opportunities

第2730地区 鹿児島西ロータリークラブ

2020-21年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

第2827回例会

6月はロータリー親睦活動月間

会 長 川畑 宏二
幹 事 菊永 昭二郎
会報雑誌委員長 天本 美信

2021年(令和3年)6月16日

◆例会場 〒892-0828 鹿児島市金生町3-1 山形屋7F 社交室 毎週水曜日 12:30~13:30
◆事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5 F TEL: 099-223-5902 FAX: 099-223-7507

本日の主要
プログラム

クラブ協議会 (年間報告)



- ① ロータリーソング(手に手つないで) ② 会長あいさつ
- ③ 会 務 報 告 ④ 出席 報 告 ⑤ ニコニコBOX披露

会長挨拶 川 畑 宏 二

アントロポセン

1935年に発刊された「This Rotarian Age」(「ロータリーの理想と友愛」米山梅吉翻訳)の中で、ポール・ハリスは「世界は常に変化しています。ロータリーは、世界と共に変化しなければなりません」と述べています。

20世紀後半からの急激な人口増加と経済活動の発展や技術革新により、世界の変化が加速しています。人類の営みが地球環境や生態系に顕著な影響を与え、恒久的な痕跡を残していることを根拠に、科学者や哲学者の間で、新石器時代から続く現在の地質年代を新たに区分する議論が提起されています。

地質時代区分で最も新しい「完新世」(ホロセン)は最終氷期が終わって温暖になり始める1万1700年前から始まります。この時期の人類は原人から進化したホモサピエンスが主流で、狩猟採集をしながら世界中に拡散し、各地に定住して農耕生活を開始しました。地質年代の呼称はそれ以来、現在に至るまで変わっていません。

フロンガスによるオゾン層破壊の研究でノーベル化学賞を受賞した大気化学者のパウル・クルツェンと藻類生態学者のユージーン・ステルマーは「完新世」から近年を分け、地質学上、新たな時代を表す「アントロポセン」(Anthropocene)という区分名を提案しました。「アントロポセン」は、古代ギリシャ語が語源で、“人”を意味する“anthropo”と“新しい”を意味する地質学上の接尾語“cene”で構成されており「人新世」と訳されています。

クルツェンの論文では、二酸化炭素やメタンの大気中濃度、成層圏のオゾン濃度、地球の表面温度、海洋の酸性化、熱帯林の減少など、近年の地球の生態系や気候に及ぼす人類の影響について指摘しています。

人間の痕跡を測る指標である温室効果ガスは、工業化社会黎明期の1750年頃に比べ、人間の活動由来の物質により、過去300万年では見られなかった変動幅で増加しています。二酸化炭素(CO₂)濃度は産業革命前は280ppmでしたが、大量の化石燃料のエネルギー利用により2019年には410ppmと46%増加しました。メタン(CH₄)は150%、亜酸化窒素(N₂O)は63%増加しています。

人類が発明した新化合物や核実験由来の放射線同位体、土壌中のリン酸塩と窒素、プラスチック片、コンクリート粒子、ニワトリの骨などが地球上の広域に存在することが確認されていることから、国際地質科学連合は2009年に作業部会を立ち上げて「人新生」を正式に承認する検討を始めています。

新地質年代の始まりの時期については、18世紀の資本主義、19世紀の産業革命や20世紀後半の情報革命等、諸説ありますが、変化が急加速を始めた1950年前後とする学説が有力視されています。

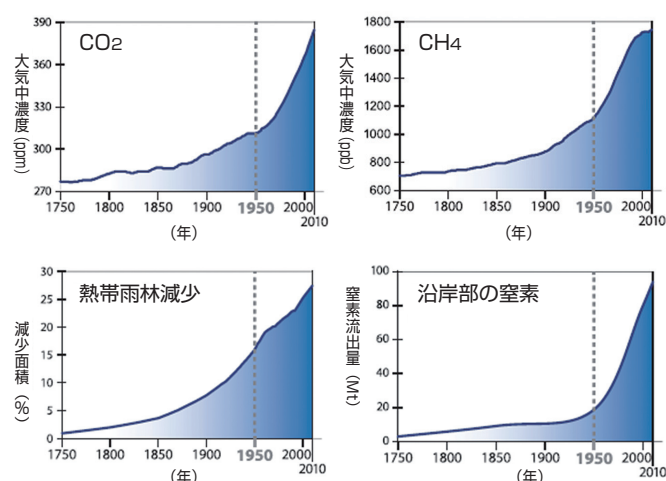


図1 地球システムの推移(CO₂、メタン、熱帯雨林減少、沿岸部の窒素量)
出所:「The Anthropocene Review 1-18」(2015)

前回の例会記録（6月9日分）

〈プログラム〉

クラブフォーラム（親睦）

〈ビジター〉 なし

〈入会式とバッジ贈呈〉

社会福祉法人ゆうかり 理事長 水流 源彦 様

〈会務報告〉

6月6日(日)にオンラインで開催された、国際ロータリー第2730地区指導者育成セミナーの動画が視聴できます。

第2730地区のホームページの「指導者育成セミナーのご案内」をクリックしていただきますと、指導者育成セミナーの案内文が表示されます。

この案内文に、YouTubeのURLが記載されておりますので、これをクリックしますと視聴できます。

元米山奨学生からメールが届きました(2021.6.7)

ワクチンの支援、感謝

鹿児島西RC会長 川畑宏二様及び会員の皆様
ご無沙汰しております。台湾出身の元米山奨学生 米田智美(旧名：陳真鳴)です。いつもお世話になっております。

今回日本から台湾にワクチンの支援を賜りましたことに、台湾人の感謝の念を貴クラブの皆様に伝えたいです。

「患難見真情(困ったときに助けてくれる人こそ真の友)」であることを改めて実感しました。

台湾と日本は、自由や民主主義という普遍的価値を共有しています。いろいろな面において、重要なパートナーであり、貴重な友人であります。この素晴らしい関係を礎に、今後とも更なる双方の関係を深めていきたいと考えています。

日本の人々からの心温まる支援を、台湾政府と国民は永遠に忘れないです。心より感謝を申し上げます。

鹿児島大学非常勤講師
米田 智美



川 畑 宏 二 君、菊 永 昭 二 郎 君

水流源彦さんの入会を歓迎いたします。

長 柄 英 男 君

- ① 長く欠席をして申し訳ありません。コロナワクチンに励んでおりましたが今月から水曜日をfreeにしてもらい出席できるようになりました。
- ② ロータリーの友に7句目の俳句が載りました。他の記事のついでにお読みいただければ幸いです。

海江田 嗣 人 君

古木氏と私が2730地区フォトコンテストに揃って入賞できて嬉しくなりニコニコです。

中 馬 輝 彦 君

水流源彦さん、西クラブへのお越し、久々の再会にニコニコします!!

布 袋 嘉 之 君

信用保証協会の退職に伴い、6月末を以って、西ロータリークラブを退会することとなりました。4年間という短い期間でしたが、たいへんお世話になりました。40年間の公務員生活、役所の狭い世界で過ごした後、入会させていただき、様々な分野で活躍されている会員の皆様と知り合い、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

西クラブのますますの発展と会員の皆様の御健勝をお祈りします。本当にありがとうございました。

小計 21,000円 累計 562,000円

次回
予告

6月23日(水) 12:30～ 山形屋
クラブ協議会(年間報告)

■前回の例会(6月9日)の報告 ■5月26日例会の報告

会 員 数	68 (65) 名	出 席 率	53.97 %
出 席 数	43 名	訂正出席数	43 名
出 席 率	66.15 %	訂正出席率	68.25 %

市内RC例会プログラム

東RC	6月17日(木)	クラブフォーラム 各委員長活動報告	サンデイズイン 鹿児島
北RC	6月17日(木)	休会	アートホテル 鹿児島
サザンウインド RC	6月17日(木)	クラブ協議会 (年間活動報告)	東急 REI
鹿RC	6月18日(金)	次年度クラブフォーラム	山形屋
中央RC	6月21日(月)	ゲスト卓話 鹿児島市長 下鶴 隆央 様	山形屋

東南RC	6月22日(火)	最終夜間例会	サンロイヤル
城西RC	6月22日(火)	会長幹事任期満了挨拶	東急REI
南RC	6月23日(水)	クラブ協議会	サンロイヤル
西南RC	6月23日(水)	最終例会 (会長幹事任期を終えて)	ゆうづき
令和RC	6月28日(月)	ガバナー補佐訪問 会長幹事任期満了挨拶	東急REI
鹿児島大学 アカデミーRC	6月18日(金)	会員卓話	鹿児島大学 稲盛記念館

鹿児島西RC

Eメール・アドレス info@kagoshima-w-rc.jp
ホームページ・アドレス http://www.kagoshima-w-rc.jp/

RIのホームページアドレス
日本のホームページアドレス
第2730地区ホームページアドレス

https://www.rotary.org/
https://www.rotary.or.jp/
https://www.2730rc.jp/

